

中中通信

平成29年5月22日
学校だより 5月号
発行 伊豆市立中伊豆中学校
電話 0558-83-0032
担当 久保田正基

学年行事での成果をこれからの学習・生活につなげよう

第1ステージ「仲間」の集大成とも言える学年行事が行われました。5月17日（水）から19日（金）までの2泊3日の日程で、3年生が修学旅行に行ってきました。また1年生が箱根の里に野外活動に出かけ、その間、2年生は市内を中心とする各事業所で職業体験を行いました。

各行事には、それぞれねらいがあります。例えば、1年生なら仲間と協力して物事をすすめる達成感を味わうことで、自己肯定感や他者を尊重する意識を高めること。2年生は、働くことの意義や責任のあり方を学ぶとともに、様々な人々との関わりを通して、自分の将来の生き方を考えること。3年生は、古都を訪ねることで日本の歴史や伝統文化を再認識することです。それぞれの行事はけっしてばらばらではなく、1年生での学びが2年生へ、2年生の学びが3年生へとつながっていくのです。それぞれのねらいがどれだけ達成できたかを振り返ることで、これからの学習や生活を充実したものにしてほしいと思います。

1年生：1日目は山中城跡散策、クラフト作り、班ごとの夕食作り。2日目はウォークラリー、学級対抗レクレーション、班対抗パフォーマンス大会。3日目はスカイウォーク見学。

特に、2日目に土佐拓也さんを招いてのミニコンサートでは、土佐さんと49人生徒全員の合唱が一体感を高め、充実した時間を過ごすことができました。



2年生：遅刻をしないようにと、ほどよい緊張感と期待感にあふれた表情でそれぞれの事業所へ出かけていきました。先生方が各事業所へ様子を見に行くと、それぞれの場所で一生懸命に活動している姿がとてもまぶしく見えました。仕事の厳しさ、礼儀、言葉遣いの大切さ、大人の仕事に対する意識などを知った3日間でした。修学旅行につなげる学年行事になりました。



3年生：課題別研修では、一人ひとりの課題を解決するために一生懸命話を聞く姿が見られました。人とのかわりを大切にしながら古都の文化・歴史に思う存分ふれる旅行になりました。リーダーを中心に自分たちの手で創り上げる修学旅行でした。仲間をサポートし合っ
て、どの子も元気に帰ってくることができました。



授業拝見（1年生英語：乾理子先生）

学校の中で一番多くの時間を費やしているもの、それは授業です。今回は、教員生活1年目の乾先生の授業を紹介します。乾先生は、日々生徒の実態を捉え、授業で目標とするところまで生徒を変容させるべく、頑張っています。授業の前に綿密に計画を立て、ALTのジョルダン先生と打合せをします。乾先生との授業内での役割分担や生徒の反応を予想し、授業の計画を組み立てていきます。今日の授業の目標は「be動詞の使い方がわかる」です。授業は「ビンゴゲーム」「辞書引き」「ジョルダン先生の後についての発音練習」「ペア学習」と続き、最後に「英語ワークシート」に英文を記入してから、「リスニングクエスチョン」へと進んでいきました。どの子にもわかりやすい楽しい授業をしていました。



6月から、いよいよ第2ステージです。第2ステージの目標は「挑戦」です。学習や運動に積極的に取り組み、自分の力を伸ばしていきましょう。具体的には…

- ①授業に真剣に臨み、期末テストへの取り組みが向上する。
- ②中体連夏季大会に向け、一丸となって取り組む。
- ③情報を的確につかみ、進路について考える。（進路説明会、高等学校一日体験入学）